

# 人口増加策を問う



質問者  
小澤 啓司 議員

有識者で作る「日本創成会議」が、5月8日発表した将来推計人口に基づく試算によると、松田町は2040年に人口7055人となり、子どもを産む中心年代である若年女性は431人と推計され「消滅の可能性が高い自治体」との結果が出た。



人口対策につき質問する。  
① このことについて、現状を踏まえどのように認識されているか。  
② 人口増加策に対する新たな町の方針・対策を示されたい。

**A**  
**子育て世代の増加策を推進する**  
回答（町長）

① 若年世代の人口減少に歯止めがかからない。若者や女性が働きやすい社会の構築と、子育てしやすい環境の整備が必要だ。  
② 継続実施している「子育て支援策」だけでなく、結婚・出産の早期化や多子世帯の支援、人の流れを変えることが重要だ。足柄上商工会の「ミルトニアの集い」や、公共交通機関とタイ

アップした婚活事業を推進する。  
地域経済を支える産業の構築が必要のため、新たな視点で特産品開発や空き店舗対策事業に取組

# 松田町の活性化策は



質問者  
飯田 一 議員

県西地域は、温泉や森林など豊かな自然環境・良好な水資源に恵まれ、農林水産業のすべてが揃い多様な食文化、さらには歴史・伝統文化も感じられる地域です。県では、県西地域活性化プロジェクト「未病を治す」

お。交通の結節点であるメリットを生かし、人が集まり出会う町を目指すと共に、恵まれた自然を生かした子育て環境の整備を進める。

をキーワードに政策を展開しているようです。そのようななか、松田町はどのような対策を考えていますか。左記につき、お尋ねします。  
① 観光資源の開発  
② 町内産業の振興  
③ 耕作放棄地対策



富士&早咲き桜

**A**  
**「未病を治す」地域の魅力で産業力アップ**  
回答（町長）

① 新たな観光資源として、最明寺史跡公園の四季や富士・桜の絶景ポイントを紹介すると共に、森林浴やウォーキングコースなどの遊歩道、休憩施設整備を通じ「森の駅・未病いやしの公園」として、一連の展開を行いたい。



町内酒店にて発売中！  
松田町オリジナル焼酎 シダンゴ 震旦郷

② 特産品開発事業補助金要綱を見直し、補助金を受けやすくした。現在あるものについても特産品に位置づけ松田ブランドとして認定をし、強くPR活動を押し進め産業振興を図りたい。  
③ 松田町の野菜を「あしがら野菜」としてブランド化し、さらなる商品の開発・販路について研究していく。  
有害獣対策でも、有害鳥獣防護柵設置事業補助金の活用や猟友会の方々の協力を得て、田畑を守り営農意欲の向上を図っていききたい。